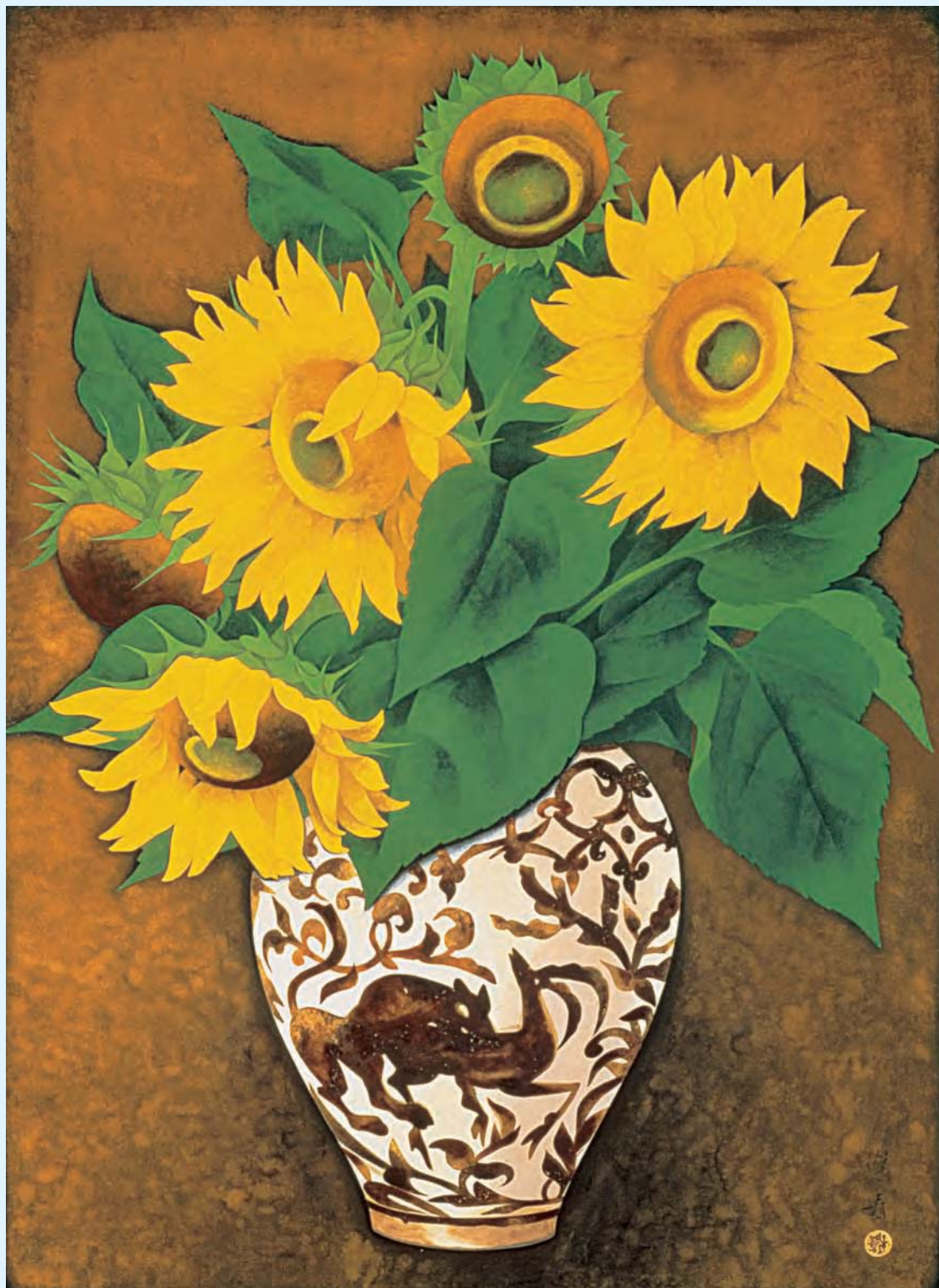


山口蓬春と北海道

——プロローグ——



《向日葵》昭和30年(1955) 北海道立近代美術館蔵 [前期のみ]

平成23年 9月16日[金]—11月13日[日] 前期：9月16日[金]—10月16日[日]
後期：10月18日[火]—11月13日[日]

※会期中、一部展示替えを行います。

山口蓬春記念館

HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日：毎週月曜日(9月19日、10月10日は除く)、9月20日(火)、10月11日(火)、11月4日(金)

入館料：一般/600円(高校生以下は無料) 団体割引/50円割引(20名以上の団体が1週間前までに予約した場合)

障害者割引/50円割引(同伴者1名を含む) 連携館割引/50円割引 ※連携館：葉山しおさい公園・博物館(大人券のみ)、神奈川県立近代美術館 葉山(一般券・学生券のみ)

年間入館券/1,500円(発行月から翌年の同月末日まで有効)

主催：山口蓬春記念館・公益財団法人JR東海生涯学習財団 後援：神奈川県教育委員会、葉山町教育委員会

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320 TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192 URL: <http://www.hoshun.jp/>



《松原図》昭和7年(1932) 北海道立函館美術館蔵 [前期のみ]



《暖冬》昭和8年(1933) 北海道立近代美術館蔵 [後期のみ]



山口蓬春記念館20周年特別展I — プロローグ —

山口蓬春と北海道

山口蓬春記念館は、平成3年(1991)10月15日に開館しました。当館では、本年9月から翌年5月にかけて「山口蓬春記念館20周年特別展I～IV」を開催し、その生涯と画業の変遷を新たな研究成果に基づいて展覧いたします。その第一弾は、「プロローグ・山口蓬春と北海道」です。

日本画家・山口蓬春(1893-1971)は、明治26年(1893)に北海道松前郡で生まれ、幼少時代を札幌で過ごしました。明治36年(1903)頃には上京したため、蓬春が北海道で過ごした期間はわずか10年ほどに過ぎませんでしたが、その縁は画業を通じて生涯にわたり続いていきました。

昭和6年(1931)、北海道出身の在京画家を中心に北海道美術家連盟が結成されると、蓬春は会員として参加しています。山形県に疎開していた昭和21年(1946)には、北海道で創刊された雑誌『北方風物』に表紙絵のほか北海道での思い出を綴った「鳥」を寄稿しています。そして昭和30年(1955)、日本美術展覧会北海道展開催のため、約50年ぶりに故郷を訪れた蓬春は、この時の印象をもとに《まり藻と花》を制作しました。また、昭和38年(1963)に『朝日新聞夕刊』に掲載された「新・人国記」北海道編では、蓬春が挿絵43枚を担当しています。

北海道について蓬春は、「人のやらなかったようなことをやってのける人が多いですな。これは北海道人特有の不屈の魂の発露でしょうネ。」(『毎日新聞北海道版』昭和28年1月6日)、「私は北海道の生まれで、何でも新しいものをよとする土地柄の人間ですから、当然のこととして最初は洋画科へ入ったのですが…」(『三彩』163号 昭和38年)としばしば言及しており、自らの故郷を強く意識していたことが窺えます。

「求新」の人と例えられた蓬春の新日本画創造にかけた不屈の精神とその原動力は、あるいは“道産子”としての自負に由来していたのかもしれない。

本展では、蓬春の原風景ともいえる北海道に焦点をあて、蓬春作品のコレクションで知られる北海道立近代美術館、北海道立函館美術館所蔵作品を中心に蓬春の画業と北海道への想いを探ります。



《浄境閑寂》大正15年(1926) 北海道立近代美術館蔵 [後期のみ]



《瑞鶴》昭和18年(1943) 北海道立函館美術館蔵 [後期のみ]



《冬菜》昭和30年(1955) 北海道立近代美術館蔵 [後期のみ]



《まり藻と花》昭和30年(1955) 山口蓬春記念館蔵



《春野》昭和10年(1935) 北海道立近代美術館蔵 [後期のみ]



《籠中春花》昭和31年(1956) 北海道立近代美術館蔵 [前期のみ]

※展示作品は都合により一部変更することがあります。



【交通案内】JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より京浜急行バス3番乗場又は京浜急行線「新逗子駅」南口2番乗場より「海岸回り葉山行(逗12)」か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約18分「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車徒歩2分 ※専用駐車場はございません。車でお越しの場合は、周辺の駐車場をご利用下さいませようお願いいたします。

次回展示のご案内 山口蓬春記念館20周年特別展II | 会期 平成23年11月18日(金)～平成24年1月22日(日)

新興大和絵会・六潮会における模索 — 戦前の画業を中心に —

関連イベントのご案内

第39回 葉山特別見学会 [無料]

内容 葉山町にある美術館・博物館を学芸員の解説付きでご案内いたします。
日時 9月16日(金) 9:30～14:30
場所 葉山しおさい博物館・山口蓬春記念館・神奈川県立近代美術館 葉山
定員 30名(応募者多数の場合は抽選)
締切 9月6日(火) 必着
申込方法 はがき又はFAXに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号を明記の上、当館「葉山特別見学会」宛にお申込み下さい。

旧山口蓬春邸特別公開

内容 非公開の和室「桔梗の間」と吉田五十八が増築した「内玄関」、「茶の間」を特別公開いたします。※入館料でご覧いただけます。
日時 9月17日(土)～25日(日) 10:00～16:30

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320
TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192
URL: <http://www.hoshun.jp/>

山口蓬春記念館